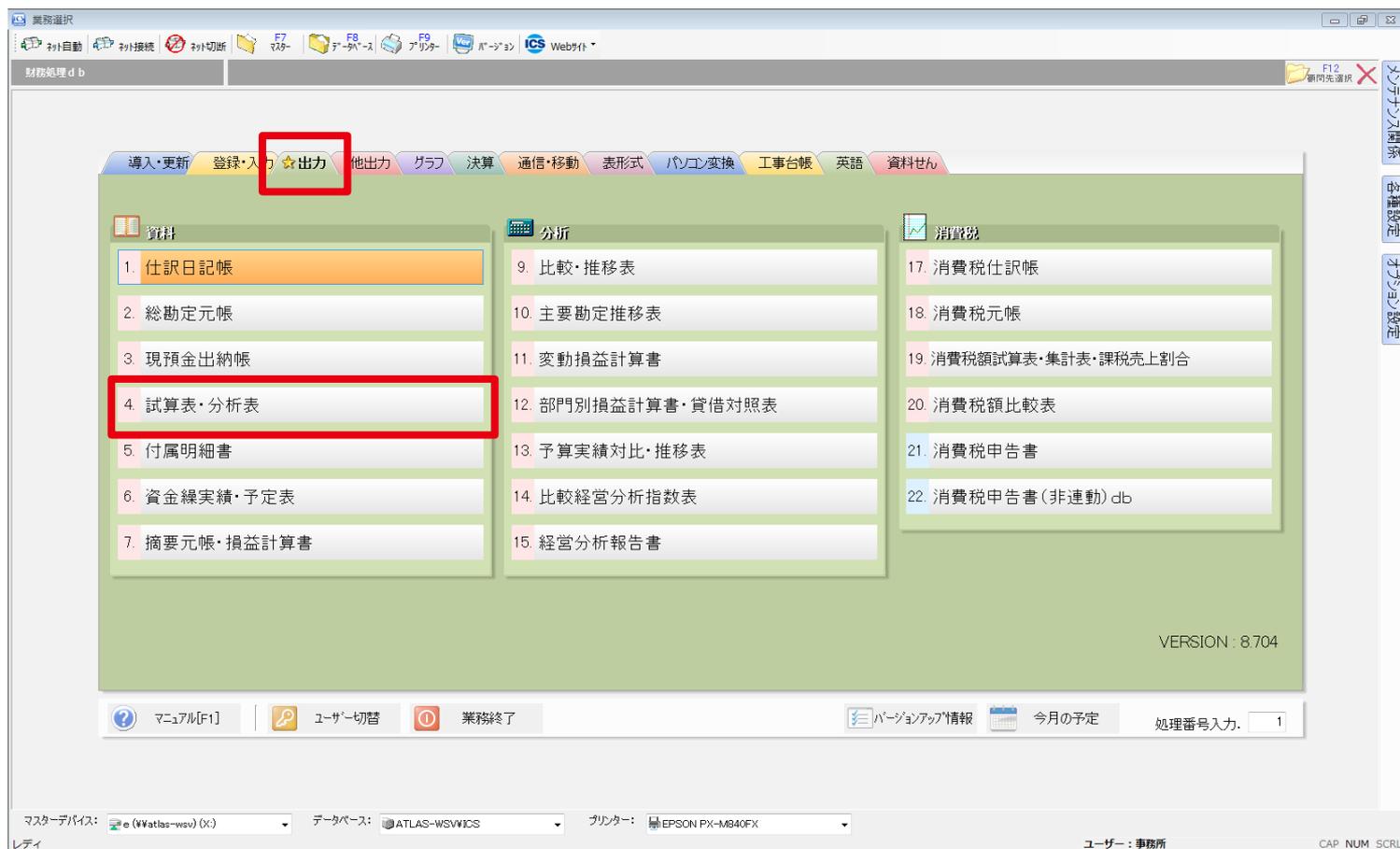


# 財務処理dbの試算表ファイル作成方法

- ※ **本処理は必ずExcelがインストールされたパソコンで行ってください。**
- ※ **「枝番表示を行う」のチェックありとチェックなしで2回ファイルを出力してください。**
- ※ ご利用のプログラムのバージョンにより操作方法が異なる場合があります。予めご了承ください。
- ※ 本マニュアル記載の製品・サービスの名称は、各社の商標または登録商標です。

# 1. [出力>4 試算表・分析表] をクリックします。



2. 「出力帳票の選択」は、「帳票の種類：試算表」「帳票の形式：自動」「タイプ：通常」を選択し、「枝番表示を行う」にチェックします。
3. 「貸借対照表」「損益計算書」「製造原価報告書」にチェックします。
4. 会計期間は「期首月～決」を選択し、「指定期間を合算する」にチェックします。
5. 「用紙サイズ：B4」を選択します。

試算表-分析表 [00000001] 株式会社ABC サンプル 29年 1月 1日～29年12月31日 第 1期 税込

ファイル(F) 表示(O) ヘルプ(H)

実行(F2) 仕訳入力(F3) 強行閉合(F4) 実行(F4) 元帳検索(F5) 元帳(F6) 試算表(F7) 科目設定(F8) 部門設定(F9) 消費税額試算表(F10) 消費税額比較表(F11) 内訳書(F12)

既定(税込) 税 抜

部門

出力帳票の選択

帳票の種類 試算表

帳票の形式 自動  枝番表示を行う

タイプ 通常

貸借対照表  前年実績表

損益計算書  資金繰実績表

製造原価明細書  資金運用表

株主資本等変動計算書  分析指数表

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 決

29年 01月 01日 ~ 29年 01月 31日

指定期間を合算する

発生/累計

用紙サイズ B4

印刷[F5]

詳細項目指定

原価内比率 対売上比

行間隔 自動

変動計算書

金額単位 円単位

科目名に科目コードを付加する

分類項目に網掛出力をする

科目欄を網掛出力する

製造原価明細を売上原価に含めて出力する

要約出力する

分類単位で表を分割する

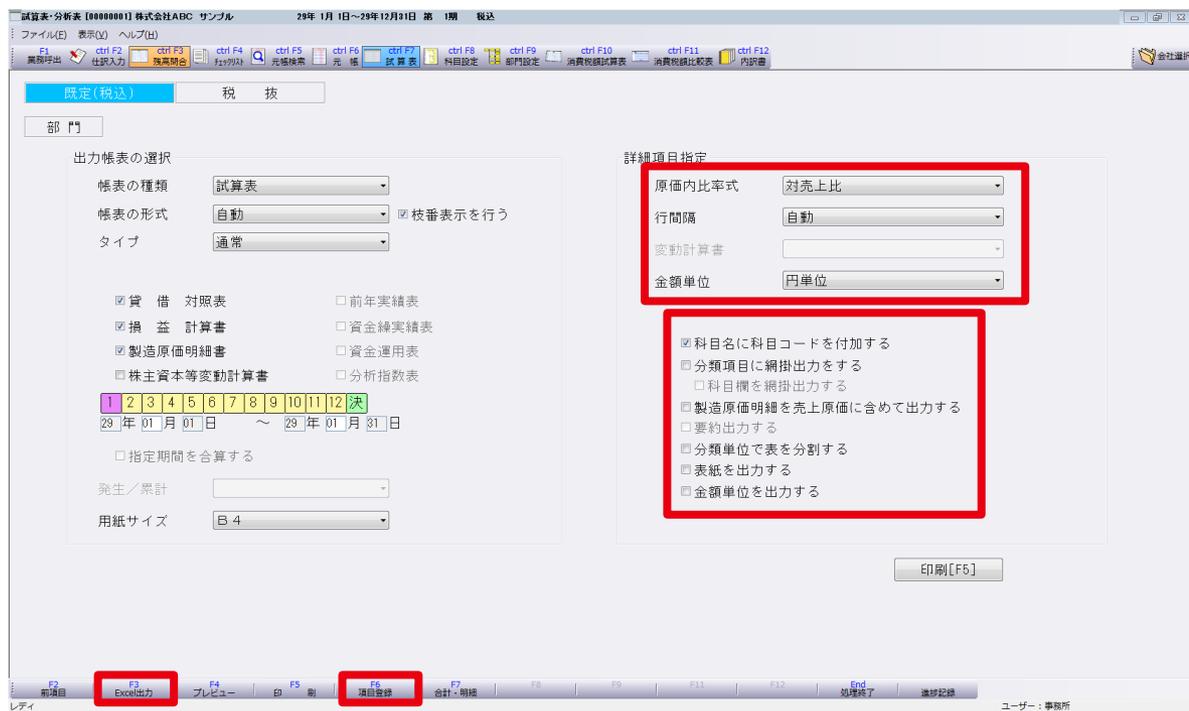
表紙を出力する

金額単位を出力する

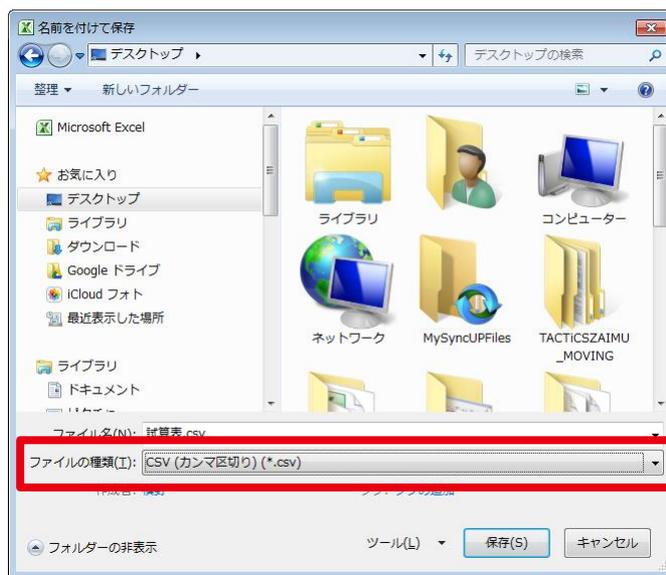
F2 前項目 F3 Excel出力 F4 プレビュー F5 印刷 F6 項目登録 F7 合計・明細 F8 F9 F11 F12 End 処理終了 進捗記録

ユーザー：事務所

- 「詳細項目指定」は、「原価内比率式：対売上比」「行間隔：自動」「金額単位：円単位」を選択します。
- 「科目名に科目コードを付加する」にチェックし、それ以外の項目は全てチェックを外します。
- 「F6：項目登録」をクリックして「項目登録」画面を開き、「試算表2」タブの「縦項目名称を出力する」にチェックして「OK」で画面を閉じます。
- 「F3：Excel出力」をクリックします。



9. Excelが起動して試算表情報が貼り付けられます。
10. Excel で「名前を付けて保存」を実行します。
11. 保存先はデスクトップなど分かり易い場所を指定してください。「ファイルの種類」で「CSV (カンマ区切り) (\*.csv)」を選択して「保存」をクリックします。
12. 上記作業もう一度行います。2.では「枝番表示を行う」にチェックを外し、10.では一度目とは別の名称を設定してください。



以上で財務処理dbの試算表ファイルの作成方法の説明を終了します。